

つまずいたら、起き上がればいい。  
何も悲観することはない。  
何度でも新しい未来を探せばいい。

18年前まで、私は世界中を駆け巡っていた。  
一年のうち、120日間以上は海外出張だった。  
日々緊張の連続だったけれど、楽しかった。  
悪夢は突然やって来た。  
ホテルのバスタブの中の、底なしの闇の中に落ちた。  
医者は再起不能と言ったけれど、信じなかった。  
長いリハビリを経て、ほぼ五体満足の機能を取り戻した。  
取り戻せなかったのは、昨日までの居場所だった。  
新しい未来を探すために旅に出た。  
左足をペダルにくりつけ、転倒を繰り返しながら  
北海道宗谷岬から九州佐多岬まで走破した。  
多くの出会いと経験が新しい未来を開いてくれた。  
命を紡ぐ喜びを知った。

